

山澤草木及鳥獸卦圖又冶工手書其姓名大小低昂不可盡取故宗易織部遠州以降增滅其形諸家皆用之也夫以古釜點茶則沫滓粥面浮蓋無水痕其尙之也不亦宜乎使用與風雅能思之謀之

〔茶道釜蹄三〕釜形之辨

眞形 シコロ羽がたのつかぬを鶴首眞形といふ蘆屋天貓に多し其後は此寫しなり古作ゆへ好しれず底に煙返しといふて細き輪あり

透木 イロリ透木釜古作は好なし原叟好に乙御前あり庸軒より始てアラレ富士釜あり

鶴首 名物の鶴首は八寸利休形は是より小さし鶴首風呂は名物の方を懸るためなるがゆへ利休形の釜には少し大ブリなり利休形鶴首は石目蓋眞鍮平鑲兩方ともケキリなり

責紐 天貓始也貴人へ獻茶の節封印を付るため也

小霰 紹鷗所持のうつしならむ歟茄子の鑲付山梔子ツマミ煙カヘシあり

乙御前 信長公御所持加州侯御所持信長公柴田へ故有て贈らる其時の狂歌に

朝夕になれしなじみの姥口を人に吸せん事をしぞ思ふ 此釜の寫しは加州侯御所藏ゆへ

寒雉の作を吉とすべし但し鑲付鬼面なり天貓に輪口あれども姥口をよしとす

百會 利休百會に用ゆ天貓作姥口霰鬼面の鑲付唐金の薄モリ蓋當時は郡山侯御所持なり

鉦 百會に似て肩に張有て鉦目あるゆへナタ釜と云鑲付鬼面天貓作利休所持なり當時加州侯に御所藏なり寒雉の作といふ

大講堂 作不知叡山大講堂の香爐を釜に用ひたる物なり大講の文字右より書たるも左より

横に書たるもあり本哥は御物なりしが明曆に焼失したるゆへ不明廣口共蓋常張鑲

唐犬 宗旦所持天貓作共蓋三味線耳なるゆへ見立て唐犬釜といふ勢州神戸侯御所持

針屋 蘆屋作針屋宗春所持コシキの内雷紋あり鑲ツキ遠山